

第10回リバーフロント整備センター研究発表会

研究第一部 主任研究員 黒川 信敏

(財)リバーフロント整備センターでは、年一回、「リバーフロント研究所報告」の刊行に合わせて、「リバーフロント整備センター研究発表会」を開催しています。

今年は、去る平成14年10月11日(金) 科学技術館サイエンスホールにおいて、「第10回リバーフロント整備センター研究発表会」を開催しました。

第10回の節目となる今回は、国土交通省河川局河川環境課宮武晃司課長補佐をお招きし、河川事業における自然再生への取り組みについてご講演いただくとともに、当センターの調査研究の現況と動向、および平成13年度の調査研究の成果の中から、8題を選んで研究発表いたしました(土木学会認定CPDプログラムにも認定されました)

ご多忙中にも関わらず、北は北海道から、南は沖縄まで、200名を超える方々のご出席を賜り、活発な質疑が交わされるなど、大変有意義な発表会となりました。

次回、「第11回リバーフロント整備センター研究発表会」の詳細は未定ですが、開催案内は、当センターのホームページ(<http://www.rfc.or.jp/>)にも掲載されますので、次回の発表会にも、是非、ご参加頂きますようお願い申し上げます。より多くの方々のご参加をお待ちしています。



写真 - 1 宮武課長補佐による講演



写真 - 2 研究発表会の様子

第11回自然共生河川研究会

岐阜分室

1. はじめに

平成14年10月25日(金)[名古屋通信会館 ユニオンホール]において、(財)リバーフロント整備センターと(財)ダム水源地環境整備センターとの共催で「第11回自然共生河川研究会」を開催しました。

この研究会は、自然と共生した川づくり・地域づくりの一層の展開に資することを目的として、平成7年の開催から第11回目の研究会となります。

今回の研究会では、3月に「新・生物多様性国家戦略」が策定されたこともあり、『外来種問題』をテーマに日本河川協会椎貝博美会長より講話をいただいた後、植物、法律、魚類、鳥類の各分野より4名の学識経験者に講習していただきました。

2. 自然共生河川研究会プログラム

開会挨拶 松田 芳夫
【(財)リバーフロント整備センター理事長】

来賓挨拶 清治 真人
【国土交通省中部地方整備局局長】

講 話 『幸福と安全』
椎貝 博美
【日本河川協会会長・筑波大学名誉教授】

講習会 『生物多様性の保全と外来種問題』
鷲谷いづみ【東京大学大学院教授】
『外来種に関する法的対応』
磯崎 博司【岩手大学教授】
『日本の淡水魚の保護と外来魚』

細谷 和海【近畿大学大学院教授】

『鳥類の外来種について』

山岸 哲【山階鳥類研究所所長】

開会挨拶 加藤 昭

【(財)ダム水源地環境整備センター理事長】

3. あとがき

研究会には、学識経験者、行政機関関係者、企業の方々をはじめ、約200人の参加をいただきました。参加者からは、活発な質疑応答が交わされました。

今後とも、最新情報をテーマに、自然と共生した川づくり、地域づくりの一層の展開に資する研究会にしていきたいと考えております。

また、第11回目の今回は、(社)土木学会の継続教育(CPD)プログラムの認定を受けました。

ただいま、この研究会の講演内容の取りまとめ作業を進行中であります。来年の春頃には、参加者の方に送付したいと考えております。



【講話中の椎貝博美氏】



【会場風景】